

つくば市内の石材

酒井 彰¹⁾

1. はじめに

SPP「花崗岩を通して、地域を考える」の第5回の講座として、「つくば市内の石材」を行いました。ちょうど地質標本館では、2007年春の特別展で「つくばの自然再発見 フィールドへ行こう!」を開催したところで、その中の「つくばの街の岩石・化石めぐり」の写真を活用しました(酒井ほか, 2007)。また、つくばの石材を紹介した雑誌「ストーンテリア」の写真も紹介しました。生徒には夏休みの宿題として身近にある花崗岩の写真を撮ってきてもらうことにしました。科学写真としてスケールを必ず入れるよう注文をつけました。

2. 講座の最初

宿題であった生徒のみなさんが撮った石材の写真を紹介しました。「公園の名称を刻んだ石」(写真1)、「小学校の校歌の碑」、「小学校の花壇の側壁」、「遊歩道沿いの亀やトンボの石彫り」、「公園の水飲み場」、「つくば駅の階段」などの写真が提出されました。いずれもスケールがきちんと入った写真で、ほとんどが花崗岩を使ったものでした。歌碑は、斑れい岩でした。なかに歩道への進入禁止ポストがありましたが、これは



写真1 公園の名称を刻んだ石。

セメントと岩石の細片で作ったいわゆる人造岩で、ビルの床材などにも人造岩が使われていることがあると説明しました。

3. 石材の用途

ヨーロッパやアメリカと違い日本は木の文化であり、石材は古くは石垣や敷石、道標、家の塀、庭石、飛び石などに主として使われていました。建築物へは、明治以降にビルの外壁・内壁・床、公園などに使われるようになったことを話しました。つくばの近くの石材としては、桜川市の真壁石や笠間市の稲田石が有名で、いずれも花崗岩です。真壁石は高価な墓石として、稲田石は国会議事堂にも使われています。

4. 市内の石材いろいろ

つくば市のノバホールの外壁には真壁石が使われています。その前のつくばセンター広場は、石で作った噴水と階段・石のオブジェからできていて、花崗岩と花崗岩の熱で変成してできたホルンフェルスとの関係を観察することができます。これらの石が白と黒に見えるのでパンダ石と呼ばれています(写真2)。また、大清水公園の噴水は稲田石、さくら大橋の欄干には真壁石が使われています。歩道の敷石や公園の石垣にも花崗岩が使われていることを話しました。もっと身近では、大きな農家の塀にも花崗岩が使われています。

花崗岩のほかに、つくば市にたくさんある公園の水辺には筑波山の山頂付近にある筑波石(斑れい岩)が自然に割れた石のまま使われていること、赤塚公園には水辺ではなく芝生の中にごろごろと置かれていることも紹介しました。

5. 外国からの石材

地質標本館の外壁・内壁・床には韓国産のピンク

1) 産総研 地質標本館

キーワード: 石材, 花崗岩, 斑れい岩, つくば, 稲田石, 真壁石, SPP



写真2 つくばセンター広場のパンダ石。



写真4 授業風景。



写真3 つくば中心部を南北に結ぶつくば公園通りの公共施設案内板に併設された岩石のアートポスト。

色の花崗岩が使われています。市内を南北に結ぶつくば公園通りと呼ばれる遊歩道沿いには、公共施設案内板に併設された岩石のアートポストがあり、国産では唯一の稲田石と外国産の白色、灰色、ピンク色、赤色の花崗岩や黒色の斑れい岩などが使われています(写真3)。

6. 石材の色や形

いろんなところに使われている花崗岩ですが、自然のままの形や、敷石のように形を規格化したものも見られます。また、表面の仕上げも様々で、それによ

て同じ岩石でも色合いが変化することがわかります。「いろんな身近な石材をもう一度よく見てください。」と言って講座を終了しました。

7. 生徒の感想

「身近なところに花崗岩が多いことがよくわかった」、「日本にはどれくらい花崗岩があるの?」、「外国からはどれくらい輸入されているの?」、「花崗岩はいつ頃できたの?」、「色が違うのに同じ花崗岩だとは驚いた」というように、非常に素直な質問や感想が出されました。質問への回答は第6回の講座のはじめに行いました。

8. 終わりに

講座の間は私語も少なく熱心に聞いてくれました(写真4)。最近、一部の学校では私語が多くて授業にならないということを聞いたことがあったのですが、この中学校の普段の授業時間と比べてどうだったのかなと思いました。

文 献

- 酒井 彰・中澤 努・青木正博・宮地良典・目代邦康(2007):つくばの街の岩石・化石めぐり。地質調査総合センター研究資料集 no.456, 20-25.
 ストーンテリア編集部(1985):新都市への構想。ストーンテリア, no.1, 8-43.
 ストーンテリア編集部(1994):トップブランド稲田石の魅力。ストーンテリア, no.37, 6-64.

SAKAI Akira (2008): Building stone in the Tsukuba City, Japan.

<受付:2008年1月15日>